

中小企業向けの サイバーセキュリティ サービスプロバイダーにとって 新たな機会

概要

中小企業（SMB）にはサイバーセキュリティが必要であり、企業側もサイバーセキュリティを求めています。Hiscox は、同社の [2021 年サイバーレジリエンスレポート](#)の中で、「攻撃を受けた企業の割合は 38%（2020 年）から 43%（2021 年）に増加し、多くの企業が攻撃を複数回受けた」と述べています。セキュリティはグローバルな問題です。2021 年に英国政府が実施した[サイバーセキュリティ侵害に関する調査](#)によると、零細企業（従業員 1～9 人）の 37%、小規模企業（従業員 10～49 人）の 39%、中規模企業（従業員 50～249 人）の 65%が、過去 12 か月間にセキュリティ侵害や攻撃を特定していたことがわかっています。回答の類似性を考えると、価値のある資産を有している小規模企業が世界中で標的とされているという結論が妥当と考えられます。このホワイトペーパーでは、以下について考察します。

- インターネットに晒される SMB、およびセキュリティ脅威への対処において SMB が直面する特有の課題
- SMB がセキュリティ露出に対処するにあたり、ISP はどのような支援を提供できるか
- SMB セキュリティの市場機会、およびプロバイダーによるビジネスケースの作成

小規模企業が直面しているサイバーセキュリティの課題

SMB は日々セキュリティ脅威に直面しています。SMB は、集合的に見れば大きな経済価値を有しているうえ、多くの場合セキュリティに関する専門知識が乏しいため、恰好の攻撃目標となっています。こうした企業は、財務情報、顧客データ、または貴重な知的財産を盗み取ることのできるマルウェアに晒されています。また、高度なソーシャルエンジニアリングを使用したフィッシング攻撃にも直面しています。これは、ユーザーを騙してマルウェアをダウンロードさせたり、収益化可能な資産へのアクセスに使用できる認証情報を提供させたりする攻撃です。さらに、インテリジェントデバイス（モノのインターネット）の普及により、事業主が考えもしないような露出が生じている可能性もあります。その他の知見については、関連する Akamai ホワイトペーパー、[SMB への脅威の状況](#)を参照してください。

小規模企業への影響を示す資料：

- 2021 年の Hiscox レポート：「攻撃のコストはさまざまですが、攻撃を受けた企業の 6 分の 1 が事業の存続が脅かされたと述べています」
- 2021 年の英国政府の報告書：「39% の企業がセキュリティ侵害や攻撃を特定し、約 5 分の 1（21%）の企業が最終的に金銭、データ、またはその他の資産を失い、約 3 分の 1（35%）の企業が、マイナスの影響を受けたと報告しています」

結論

ほとんどの SMB は、大規模組織のように「セキュリティ脅威にすぐに対応できる知識や体制」がないため、適切な自己防衛はますます困難になっています。

また、英国の調査によると、SMB は脅威にさらされているにも関わらず、正式なセキュリティポリシーがある企業はわずか 38%、従業員向けのサイバーセキュリティのトレーニングを実施している企業は全体のわずか 14% でした。一方で、回答者の 77% が経営陣にとってサイバーセキュリティは優先すべき事項であると回答しています。

結論：ほとんどの SMB は、大規模組織のように「セキュリティ脅威にすぐに対応できる知識や体制」がないため、適切な自己防衛はますます困難になっています。

SMB セキュリティの市場機会

セキュリティ問題に対処しようとする SMB への支援に関して、ISP は絶好の立場にあります。IT について継続的な関係にあり、関係構築や課金のためのつながりも確立されており、すでにアドバイザー的な役割を果たしています。このような信頼できる情報元からの助言は歓迎される可能性が高いと考えられます。また、プロバイダーの強みを活かしながら、使いやすさ、多様なデバイスへの対応、控えめな予算に見合った価格帯など、SMB の要件を満たすセキュリティソリューションを用意することもできます。プロバイダーは、魅力的な加入者体験を構築することで、収益を拡大したり、提供するアクセスサービスへの親近感を高めることもできます。

世界各地の ISP 事業を追跡している大手市場分析企業である [TeleGeography](#) が発表したデータや、プロバイダーの SMB 担当事業部の調査結果から、Akamai は、インターネット・アクセス・サービスを使用している SMB の数は世界で 6,500 万社にのぼると推定しています。世界各地で適用されている月額アクセス料金は 50 ドルから 125 ドルですが、アクセスサービスに基本的なセキュリティを組み込むことで、料金は 10 ~ 20% (月額 5 ~ 25 ドル) 高くなります。したがって、中間価格での総市場規模 (推定値の上限と下限の平均) は年間 120 億ドル弱となります。

SMB のセキュリティを変革する Akamai Secure Internet Access SMB

Akamai を利用することで、プロバイダーは SMB セキュリティの市場機会を活かすことができます。Akamai Secure Internet Access SMB は、軽量でスケーラブルな DNS ベースのセキュリティ防御を提供する、新たな Web セキュリティソリューションです。これにより、ISP は、固定、モバイル、コンバージドのいずれのネットワークでも、SMB に基本的な保護レイヤーを提供できます。Secure Internet Access SMB は、プロバイダーが管理するネットワーク内ライセンスソフトウェアとして、または Akamai が管理する「サービスとして」、ISP が運営できるように新たに開発された製品です。DNS ベースの防御は、SMB の施設内のすべてのデバイスをカバーし、今日の動的な脅威へ高度な対応を行えるようにします。

プロバイダーの立場から見ると、Secure Internet Access SMB はプロバイダーが完全にコントロールできる設計となっています。プロバイダーは自社のアイデンティティと目標に基づいて、このサービスをブランディングできます。また、プロバイダーがユーザー体験を定義し、API を通じてサービスレベルを指定します。加えて、ビジネスモデル (プレミアムサービス、バンドル、階層型サービスなど) の決定や、地域の条件に合わせた価格設定もプロバイダーが行います。Akamai は、「市場展開」パッケージを通じてガイダンスや事例を提供し、プロバイダーが迅速にマーケティング活動を開始できるよう支援します。



Secure Internet Access SMB は SMB 向けとして設計されているので、ユーザー体験についても、専門知識や時間、リソースが限られているお客様に適したものとなっています。ソフトウェアをインストールする必要はなく、一般的なビジネスで使用されるすべてのデバイスが保護されます。経営者は設定すればあとは何もしなくても構いません。何もしなくても、悪性のアクティビティや望ましくないコンテンツをこのサービスが特定してブロックします。これらの利点はすべて、従来の SMB 向けセキュリティソリューションとは一線を画しています。こうしたソリューションの多くは、ほとんどの SMB には使いにくくメリットのない機能を数多く備えた、パッケージと価格を変えただけの製品です。

以下の例に示すように、プロバイダーは Secure Internet Access SMB に関して多くのビジネスモデルを検討しています。また、セキュリティ保護をさらに拡張したいと考えるお客様向けに、ウイルス対策ツールなどの補完的サービスを有料で提供することも模索しています。

ビジネスケース 1

約 250 万社の SMB が加入している北米の大手プロバイダーが、2 種類のセキュリティ・サービス・レベルを作成し、バンドルの一部としてアクセスサービスに追加しました。ベーシックレベルは月額 9.95 ドルでマルウェアとフィッシングアクティビティをブロックできます。プレミアムレベル(月額 29.95 ドル)は、ベーシックサービスを基盤とし、さらに事業主が設定できるシンプルなフィルターによって職場に望ましくないコンテンツをブロックできます (利用規定 [AUP])。このプロバイダーは、Secure Internet Access SMB を使用して市場投入までの時間を短縮し、内部の運用オーバーヘッドを最小限に抑えました。当初は新規顧客をターゲットとしていますが、今後は SMB の顧客すべてに対象を拡大していく計画です。プレミアムパッケージは 3 年間契約すると割引が適用されます。同社はこのサービスが 2 年目には黒字になると見込んでいます。

ビジネスケース 2

50 万社の SMB 顧客を擁する別の大手北米プロバイダーは、アクセスサービスの一環として、2 種類のセキュリティ・サービス・レベルを開発しました。エントリレベルのサービスは月額 19 ドル、プレミアムサービスは月額 29 ドルです。これに続き、地域で多店舗展開しているレストランや小売チェーンを対象として SD-WAN テクノロジーに基づくサービスも提供していく予定です。これらにより、セキュリティはサービス自体の基本要素となるため、Secure Internet Access SMB は同社のポートフォリオの中核的存在となります。このようなイノベーションが可能であるのは、Secure Internet Access SMB がネットワークに依存せずスケーラブルであるためです。

まとめ

ISP は競合他社からの圧力が高まるなかで収益成長を維持するために、接続の提供にとどまらず、付加価値の高いサービスを提供するように進化しつつあります。セキュリティ保護の必要性に対する企業の意識は高く、セキュリティサービスは導入候補として有望です。SMB 市場セグメントにおけるプレゼンスが大きく、信頼される立場にある ISP は、顧客のリスクを軽減する基本的な Web 保護レイヤーを提供するチャンスに恵まれています。また、SMB 市場セグメントは、十分にサービスを受けていない場合が多く、リソースも限られているため、セキュリティなどのサービスを外注する傾向が見られます。

Akamai Secure Internet Access SMB は、ISP サービスとして導入されることを想定して設計され、特に SMB 向けに開発されています。企業の管理者に設定や管理の負担を課すことなく、「そのままの状態」機能します。

グラフィカルなポータルを使用して脅威の状況を簡単に把握できるうえ、オプションの Web コンテンツフィルターを設定して AUP を実装できます。また、導入オプション(ライセンス方式や「サービスとして」の導入) が用意されているので、プロバイダーはビジネス要件と運用要件を柔軟に調整できます。

Secure Internet Access SMB を使用することで、プロバイダーは価格設定戦略とビジネスモデルを制御し、地域の要件と適性に基づいてブランディングとユーザー体験を定義できます。関心を高めるために、SMB である加入者に脅威の状況を通知したり、地域の状況に関する知見を提供することも可能です。Akamai の「市場展開」パッケージを活用すれば、すぐにマーケティング活動に着手できます。

SMB 向けサイバーセキュリティの詳細については、akamai.com をご覧ください。



Akamai はオンラインライフの力となり、守っています。世界中のトップ企業が Akamai を選び、安全なデジタル体験を構築して提供することで、毎日、いつでもどこでも、世界中の人々の人生をより豊かにしています。クラウドからエッジまで、世界で最も分散されたコンピューティングプラットフォームにより、Akamai は、アプリケーションの開発や実行を容易にし、同時に、体験をユーザーに近づけ、脅威を遠ざけます。Akamai のセキュリティ、コンピューティング、デリバリーの各ソリューションの詳細については、akamai.com および akamai.com/blog をご覧いただくか、[Twitter](#) と [LinkedIn](#) で Akamai Technologies をフォローしてください。公開日：2022 年 6 月。